

大阪教区教役者の皆さま
信徒の皆さま

新型コロナウイルス感染拡大に伴う各教会の対応に関するお願い

2020年2月28日
主教 アンデレ 磯 晴久

先般、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応として、各教会での手洗いやアルコール消毒の励行などをお願いしてまいりましたが、教会には高齢の方、病气療養中の方、妊婦や小さなお子さんも集うことから、さらに慎重な対応の必要があると考え、教役者および教会関係者の皆さまには、教会の活動を行うにあたり、改めて下記の点についてご留意いただきますようお願いする次第です。

期間としては、当面は3月1日～3月14日の2週間を想定しておりますが、状況によってはさらに継続して対応いただくこともお含みおきください。

- ① 教会での一定数の人が集まる集会・会議・練習等は不急の場合は中止か延期としてください。また、教会内外の団体が教会施設を使って行う集会等も、できるだけ中止していただくようご連絡ください。
- ② どうしても開催する必要がある集会や会議については、規模の縮小、時間の短縮、席間距離の確保、聖歌斉唱の割愛などの対応を検討し、こまめな換気を行った上で、大人数が一か所に集まる状況をできるだけ短くするよう努めてください。
- ③ 聖餐式については、「一種陪餐」とするか、「み言葉の礼拝」に変更することもご検討ください。また聖餐式をする場合、司祭は素手でウエハースに触れる前に指先をアルコール消毒するよう努めてください（クリーデンステーブルに消毒液を置いておくなど）。オルター奉仕者が聖餐の準備をする時も手指の消毒に努めてください。
- ④ 信徒が陪餐を自発的に控えることも可能とします（細心の注意で感染防止に努めなければならない状況にある方々もおられるため）。
- ⑤ 平和の挨拶での握手を控えたり、司式者の判断により聖歌を割愛することがあっても、隣人への配慮として尊重してください。また、信徒はもちろん、司式者・信徒奉事者・サーバーが礼拝中必要に応じてマスクを着用することも可能とお考えください。
- ⑥ 信徒・教役者にかかわらず、本人もしくは同居者に咳・微熱等、体調不良が認められる場合は、聖餐式・礼拝等に参加しないようにしてください。また、不特定多数の集まる場所に同席することに不安を感じる場合は、礼拝を欠席することをためらわず、自宅で祈りを献げてくださることも大切なことであるとお勧めください。
- ⑦ 聖餐式・礼拝後の食事・愛餐会などはしばらく中止してください。
- ⑧ 教役者が咳や発熱によって礼拝を司式できなくなった場合は、急きょ、信徒だけで「み言葉の礼拝」に切り替えることもできます。その際、準備がなければ勧話等は割愛していただいて結構です。また、その対応も困難であれば、集まった者だけで、短く一緒に祈るひと時を持ち、気をつけて解散するようしてください。
- ⑨ 葬儀等は、十分な感染対策を講じた上で執り行ってください。

これらの対応は、それぞれの教会の状況によって幅が生じるでしょうが、何よりも、健康に不安のある方々への影響が最小限に留められ、教会活動が感染の原因を作ることにならないよう、教役者および信徒各位のご理解・ご協力をお願いするものです。

この感染症によって命を落とされた方々、療養中の方、不便な生活を強いられている方々、治療・看護・防疫の対応に当たっている方々、とくにその対応に苦しんでいる中国・韓国の方々が支えられるようお祈りいたします。